

図書館だより

NO. 161 2011年10月号
(2011年10月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

図書館まつい



11月5日(土)

本と友だち
になろうよ



1. 「人形劇」がやってくる!

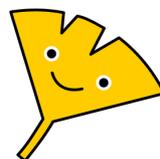
10:30~12:00 場所: さくらびあ リハーサル室

2. 本と雑誌のリサイクル市 (来場者多数の場合は入場制限あり)

11:30~13:00 場所: さくらびあ 大ホール前通路
(図書館で使わなくなった本と2008年の雑誌をお一人様10冊まで)

3. 大人のためのストーリーテリング

14:00~15:30 場所: さくらびあ リハーサル室



今月の展示

<さくらびあ展示> 「お芝居に登場する落語」

落語のお噺を干切りにし、じっくり煮込んでそのおいしいところを味わう抱腹絶倒のお芝居「江戸の青空 弐 ~惚れた晴れたの八百八町~」。この作品に登場する主な落語を紹介します。これを読んでお芝居に参加すれば、楽しさ倍増です。主な出演者: 坂東巳之助、柳家花緑、松尾貴史ほか

<中央展示> 『部活の本集めました!』あなたは今何部ですか?あなたは昔何部でしたか?

9月7日~11日の5日間インターンシップとして図書館に実習にきた大学生が、展示の企画から飾り付けまでを担当しました。学校生活に欠かせない部活。各部に分けて関連する本を集めています。あなたは今、何部ですか?学生時代は何部でしたか?昔を思い出して趣味やスポーツを再スタートしてみませんか?

<テーマ展示> 『ぼく、だんごむし』たかはしきよし絵本原画展

11月23日(水・祝)~27日(日)の間、さいき文化ホールにおいて、たかはしきよし絵本原画展が開催されます。その自然観察に基づいた植物や昆虫の精密な実写力には定評があります。最近では貼り絵の手法で描いた絵本を手がけています。23日(水・祝)には、たかはしきよしさんによる原画案内や自然スケッチ等のイベントも企画されています。

図書館での本の探し方②

本の背表紙の下部に貼ってある、「請求記号」のラベルの上段の数字を「分類記号」といいます。

933

…分類記号

ア

…図書記号

この「分類記号」は本の内容を表したものになります。図書館の本は「分類記号」の順番に並んでいます。

まず、0～9の10のグループに分かれています。

0 総記、1 哲学、2 歴史、3 社会科学、4 自然科学、5 技術、6 産業、7 芸術、8 言語、9 文学

次に、この中でさらに10のグループに分かれます。今回は「9文学」の途中までを取り上げます。

90文学、91日本文学、92中国文学、93英米文学、94ドイツ文学、95フランス文学 ……

またさらにこの中で10のグループに分かれます。今回は「93英米文学」の途中までを取り上げます。

930英米文学、931英米詩、932英米戯曲、933英米小説、934英米評論・エッセイ・随筆 …

このようにグループ分けを繰り返して「分類番号」は振られています。

たとえば「933」の場合は、「9文学」→「93英米文学」→「933英米小説」となります。

<今月の新着(一般書)>

図書館には1カ月に約600冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『自分を育てる読書のために』 脇明子・小幡章子/著 岩波書店 019.2/ワ
『もしもノンフィクション作家がお化けに出会ったら』 工藤美代子/著 メディアファクトリー 147/ク
『第三の敗戦』 堺屋太一/著 講談社 210.6/サ
『楽しんで生きる老い』 佐橋慶女/著 海竜社 367.7/サ
『うつな気分が治る食べ物、生き方』 石原結実/著 ベストセラーズ S493.7/イ
『病気・病状別家庭介護の手引き』 川島みどり/総監修 小学館 598.4/ヒ
『100円グッズでスイーツデコ』 永高真寿美/著 主婦と生活社 751.4/エ
『アルカナシカ』 田口ランディ/著 角川学芸出版 914.6/タ
『今昔有情』 外山滋比古/著 毎日新聞社 914.6/ト
『神君家康の密書』 加藤広/著 新潮社 F/カ
『峠うどん物語』上下 重松清/著 講談社 F/シ
『白い鴉』 新堂冬樹/著 朝日新聞出版 F/シ
『少女不十分』 西尾維新/著 講談社 F/ニ
『マスカレード・ホテル』 東野圭吾/著 集英社 F/ヒ
『流転の海 第6部 慈雨の音』 宮本輝/著 新潮社 F/ミ
『真夜中のパン屋さん』 大沼紀子/著 ポプラ社 BF/オ

ヤングアダルト新刊情報

ヤングアダルトって?

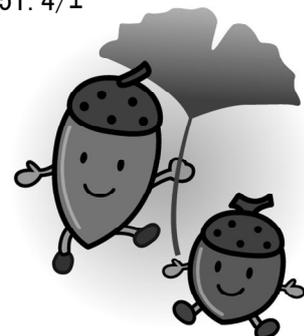
子どもから大人へ、成長していく時期にある12～18歳くらいの若者たちのことを表した言葉です。ヤングコーナーに入った本の新刊を毎月紹介します。

『日本人なら 知っておきたい日本文学』

蛇蔵&海野凧子/著 幻冬舎 910.2ハ
「枕草子」の清少納言、「源氏物語」「紫式部日記」の紫式部、「徒然草」の吉田兼好など、現代ではよく知られている日本文学の有名な著者たちが、“どんな人”だったのかを、若者にも分かりやすくマンガとエッセイで紹介しています。生きていた時代は違っても、現代に通じる感性や人柄を持っていた偉人たち。日本の古典文学への興味がいっそう深まります。

『エリザベス女王のお針子』

ケイト・ペニントン/作 徳間書店 933ハ
仕立て職人の父を持つお針子の少女メアリーは、ウォルター・ローリー卿に頼まれて、彼がエリザベス女王へ謁見する際のマントを仕立てることになる。しかしある夜、メアリーはローリー卿を利用して女王の暗殺を計画している男たちの話を、偶然聞いてしまう。容赦のない運命に翻弄されながらも、懸命に女王を救おうとした少女の姿を描く。



新刊

こどものほん

『知ってる？正倉院—今なおかがやく宝物たち—』(カラーでわかるガイドブック)

奈良国立博物館/監修 読売新聞社/編集 ミネルヴァ書房 702/9

正倉院は奈良の東大寺にある建物です。そこには1250年以上前の奈良時代に、世界の珍しい材料や高度な技術を用いて作った美術工芸品(宝物という)が多数納められています。この本では宝物1つ1つの解説だけでなく、その時代の歴史や外国との交流、また現在行われている宝物の復元作業についてもQ&Aや吹き出しなどで楽しく紹介しています。

『わたし、くわがた』

得田之久/ぶん たかはしきよし/え 福音館書店 E/タ

ノコギリクワガタは、雑木林で昼は寝て過ごし、夜になるとあまい樹液を吸いにでかけます。クワガタといえば角が立派なオスが目立ちますが、この絵本ではメスが主役です。作者たかはしきよしさんの絵本原画展が11月23日~27日さいき文化センターで開催されます。貼り絵で描かれた原画のすばらしさを味わってみませんか？

その他の新刊

『万里の長城』加古里子文 加古里子/常嘉煌絵 福音館書店 222/カ

『生産と消費で見る日本 調べる！47都道府県』こどもくらぶ編 同友館 602/9

『クマのあたりまえ』魚住直子著 植田真絵 ポプラ社 913/9

『せんせい！これなあに？』

①いもむし・けむし

藤丸篤夫/写真 有沢重雄/構成・文 偕成社 460/セ

同じ種類のチョウやガの幼虫は、似ていて見分けにくいものです。この図鑑で腹側・背中・側面・正面などさまざまな角度の写真で模様や特徴の違いを見比べながら名前を知ることができます。よく食べる植物の写真も添えられ、見つけやすい所が一目で分かる1冊です。成虫の写真は巻末の索引にあります。シリーズの2巻目は『海の生き物』です。

『アートとマックス コキゲンなゲイシュツ』

デイヴィッド・ウィズナー/作 江國香織/訳 BL出版 E/9

アーサーが絵をかいていると、好奇心旺盛なマックスがやってきました。何をかこうか悩むマックスにアーサーは「ぼくをかいたらどう？」と言います。するとマックスはいきなりアーサーの体に色を塗りはじめ…。8頭身の不思議な生き物が織りなす、はちゃめちゃんアートの世界。『かようびのよる』の作者デイヴィッド・ウィズナーの最新作。



当日配布された資料については、図書館カウンターにてお配りしております。

平成23年度 第3回

「子どもと本の講座」報告

9月14日(水)に、第1・2回に続いて、 広島女学院ゲーンズ幼稚園園長菊野秀樹氏を講師に迎え、開催しました。子どもの成長とそれに応じた絵本の選び方・読み聞かせについて、長年多くの子どもたちを見守ってきた経験を基に、絵本の読み聞かせも交えて分かりやすくお話していただきました。参加者は49名でした。

【参加された方の感想】

- ・ この種の講座に初参加しました。読み聞かせは知育ではなく人格形成に役立つことがよくわかりました。
- ・ 普段読み聞かせをする立場ですが、今日は先生に読んでいただき新鮮な感覚でした。絵本は絵を見ることが主だと感じました。
- ・ 幼児期に良い絵本と出合うことの大切さを改めて感じることができました。

子ども司書のおはなし会

子ども司書は、読書の楽しさや大切さを学校や地域で広める子ども読書活動のリーダーです。広島県教育委員会が主催し、学校や地域の図書館で活動をしています。活動の一環として、市内小学6年生の3人が、おはなし会を実施します。研修の成果をぜひ見に来てください。

日にち：10月29日(土)

時間：11:00~

場所：図書館会議室

対象：幼児から大人まで



インターンシップを終えて

9月8日(木)～11日(日)の4日間、県立広島大学から1名、比治山大学から2名の大学生がインターンシップに来ました。インターンシップとは、学生のうちから企業などの職務を実際に体験することです。大学生たちにも図書館の仕事をたくさん体験してもらいました。その時の感想を紹介します。

図書館のカウンター業務や、中での事務作業等、本当にたくさんの経験をさせていただきました。実際に一度はやってみたい仕事だったので、多くの時間を割いてくださった図書館の皆様には感謝の気持ちがいっぱいです。

やさしい職員さんに囲まれてのインターンシップはとても和やかで、たくさんの経験をさせていただきました。働く意欲を高めて下さり、ありがとうございました。

おはなし会と中央展示が印象に残っている。電話連絡が緊張した。申し込んで良かった。

今月の中央展示は大学生たちに頑張ってもらいました。そちらもぜひご覧ください！

図書館からのお願い！



団体登録利用者の皆様へ 図書資料の返却について

図書館休館日の図書資料返却につきましては、ブック・ポストをご利用いただいているところですが、「団体登録利用者」の皆さまにおかれましては、お手数ですが開館日の返却カウンターに直接返却をお願いいたします。ブック・ポストの容量にも限りがあり、一度に何十冊、何百冊と返却されると、返却口から図書資料があふれでることが予想され、他の利用者の皆さまにご迷惑をかけてしまいます。

「団体登録利用者」皆さまのご理解とご協力をお願いします。

10月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 休館	4	5	6	7 ◎	8 ☆
9	10	11 休館	12	13	14	15
16	17 休館	18	19	20	21 ◎	22 ☆
23	24 休館	25	26	27	28	29
30	31 休館	1 休館	2	3	4	5

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 11時～

2回目 11時30分～

※整理券を相談窓口で配布します

☆おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】11時～

■ストーリーテリングのおはなし会

【対象】幼児～

【時間】11時～

